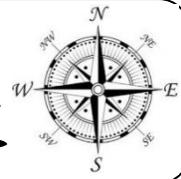


# 羅 金十盤



太秦中学校  
進路指導部  
7月11日  
No.35

## 三者懇談会に向けて

いよいよ、明日から三者懇談会が始まります。おうちの方とみなさんと担任の先生の三者でみなさんのことについて話し合います。

4月からの皆さんの学校やおうちでの様子、7月の成績、そのほかにも進路についての話が出てくると思います。

第1回の進路希望調査の時におうちの方と進路について話をしたと思います。(その時に、けんかになったという人もいたようです。)今回の懇談会に向けても、進路についておうちの方と話をしておいてください。前の進路希望調査の時は、3年生の成績が出ていない状態での進路希望でしたが、今回は成績が出てきます。自分が決めた進路は自分の実力に見合っているのかどうか、担任の先生を交えながら、話し合ってみてください。みんなの進路については、担任の先生が決めるものではないので、最終決定するのはみなさん自身です。あくまでも担任の先生からの話は、みんなが進路決定をしていくまでのアドバイスです。アドバイスを聞きつつ、最終の進路決定書の提出になる12月に向けて、自分の進路を確実なものへと進めてください。

三者懇談の時の話について、家でおうちの方とシミュレーションをしておいてください。「もしも、このぐらいの成績だったら、この高校にしようかなあ。」なども考えておいてください。その時にみんなの考えとおうちの方の考えにあまりにも違いがありすぎて、三者懇談会の場面で言い合いが起きないようにしておいてくださいね。ただ、自分の考えとおうちの方の考えが違っていて、担任の先生に尋ねてみようというのもいいかと思いますので、そのようなことがあったら担任の先生にアドバイスを求めてみるのもいいと思います。

また、高校について分からぬことがあった場合、どんどん三者懇談会の場面で質問してください。適切なアドバイスをしていただけると思います。また、その場で返事をもらえないても、調べて返事をいただけると思うので安心してください。ただ、「この成績で行ける高校はどこですか?」という質問には担任の先生方は答えられません。進路というのは自分のこれから進む道です。自分で行きたいと思う道を選ぶべきです。担任の先生が選ぶものではありません。

『自分は将来、どのような道へ進みたいのか。』そこが大切だと思います。ただ自分の成績と見比べたとき、それが高望みになっていないかというところは、しっかりと担任の先生と話しておく必要はあると思います。合格の望みがほとんどないところを希望していて、いざ入試を迎えて結果が希望通りにならなかつた場合、次どうしようというときに、進路がなくなってしまって、行き場がないということだけにはならないようにしていきましょう。しかし、チャレンジすることは大切です。『あとこれだけ頑張れば、入学できそうだ。』という目標をもってガンバルことも大切です。

